

大学図書館のさらなる利用方法

皆さんは、琉大図書館で図書や資料を探したものの、所蔵がなかったという経験はありませんか？ 特に、卒業論文といった研究等で、必要な資料がないと困りますよね。そのようなときは、諦めずに様々な依頼や取寄せを活用しましょう。図書館内で勉強したり、図書の貸し出しを行ったりするだけでなく、様々な依頼を活用して、円滑に充実した研究を行えるようにしましょう！

■ 図書購入リクエスト

どの学生も条件内であれば、図書購入のリクエストが可能です。この詳細は、別の TA の方がまとめているため、そちらをご参照ください。→[「図書館にない本は購入リクエストできます！」¹](#)

■ 他館からの図書取寄せ

例えば、図書を探した結果、とある館で所蔵は確認できたが、直接来館することは難しいときや、比較的古い図書で購入依頼が難しいと考えられるときなどに活用できます。

取寄せた図書は、国立国会図書館からの場合だと、館内のみの閲覧となります。その他の場合では、持ち出しも可能です。費用について、他大学や国会図書館などからの取寄せは有料ですが、県内の公共図書館であれば、無料で取寄せが行えます。また、「研究室貸出」（図書館ではなく、教授等の研究室に所蔵があるもの）の図書を読みたい場合も、この依頼方法を使用して、取寄せることができます。

■ 複写取寄せ

閲覧したい雑誌の所蔵が見つからなかった場合、雑誌は図書と違い、冊子自体の取寄せをすることができません。また、それらに掲載された論文等が、ウェブ上でも見つけることができないとなれば、当該雑誌の論文や記事の複写を依頼しましょう。

雑誌名・論文名・著者名・ページ数などを申請時に記入して、複写の依頼を行います。どの館からの取寄せも基本的に有料ですが、ハワイ大学マノア校図書館からの取寄せは、無料となっています。

■ 「国立国会図書館デジタルコレクション」について

図書や雑誌の一部には、国立国会図書館でデジタル化されているものがあり、かつ「国立国会図書館デジタルコレクション」上で閲覧可能な場合があります。デジタル化された資料は、

¹ 2022 年度作成のガイド。

大学図書館内の専用パソコンで閲覧が可能です。

デジタルコレクション内にある資料の複写申請は、閲覧とは別で行う必要があり、その際には、連絡事項欄に、「国立国会図書館デジタルコレクションから複写希望」と書く必要があります。ここからの複写は、送料などもかかる他館からの取寄せに比べて、費用を抑えられると予想されます。複写申請時の所蔵検索の際には、国立国会図書館でデジタル化されていないか、というところも確認してみてください。

(なお、「国立国会図書館デジタルコレクション」は、自宅などでも閲覧でき、個人での複写申請が可能です。)

■ 支払い方法

図書の取寄せや複写にかかる費用の支払いについて、私費と公費がありますが、公費は教職員のみ選択が可能であるため、ここでは私費のみ紹介します。

費用の支払いは、資料や図書の受け取り時に行い、「原則キャッシュレス決済」となっています。現在は、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済が利用可能です。

■ 依頼方法

図書や複写の取寄せといった、これらの依頼は「My Library」から行うことができます。琉大図書館のホームページから、「My Library」にログインし、「他機関から資料を取り寄せ」というところをクリックして、所定の操作をしてください。どの方法も、申請してから手元に届くまで、少なくとも1-2週間程度かかります。

琉大図書館内の所蔵確認を十分に行った上で、時間に余裕をもって依頼や申請を行ってください！ これらを活用して、ぜひ充実した研究に役立ててください。

参考

国立国会図書館「国立国会図書館デジタルコレクション」, <https://dl.ndl.go.jp/>

琉球大学附属図書館「学生の方へ / User Guide for Students 琉球大学に必要な資料がなかった場合」, <https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/guide/for-student/#panel8>

琉球大学附属図書館「複写料金等の支払いにキャッシュレス決済が利用可能【11月2日～】」, <https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/6097/>

(情報は2023年4月現在のものです。)

(地域共創研究科 M2 歴史学 TA)